

2018年5月16日（水）

Important disclosures  
and disclaimers appear  
at the back of this document.

フィスコアナリスト

## ■ 2018年3月期に行った先行投資効果により、 今期大幅な増収増益を見込む

RIZAP グループ<2928>は15日、2018年3月期連結決算を発表した。売上収益が前期比42.9%増の1362.01億円、営業利益が同33.1%増の135.90億円、税引前利益が同25.4%増の120.47億円、当期利益が同37.7%増の107.41億円、親会社の所有者に帰属する当期利益が同20.5%増の92.50億円となった。営業収益においては6期連続の増収、営業利益では5期連続の増益となり過去最高を達成している。

既存事業においては、2月にRIZAP ボディメイク会員数が10万人を突破し、サービス開始以降、継続して力強い伸びを見せている。また、昨年7月より1年更新の健康維持・管理を目的としたプログラム「BMP（ボディマネジメントプログラム）」を開始し、ストック収益の積み上げが着実に進捗した。これまでの個人向け（1人のトレーナーに対して1人の会員）サービスで培ってきたメソッドを活用した集団向け（1人のトレーナーに対して複数へ対応する）サービスの本格展開を開始し、地方自治体や法人向けの新しいサービス開発に取り組んだ。法人向けサービスでは、サービス受講企業数が200社を超え、これらも成長を続けている。新規事業においては、「RIZAP GOLF」や「RIZAP ENGLISH」などへ先行投資を集中的に実施するなど、新サービス開発や新規出店、トレーナー採用のペースを速めた結果、新規入会者数が順調に増加し、売上高及び利益率の向上につながった。

また、2018年3月期はRIZAP ボディメイク事業、新規事業、M&A関連に先行投資（計91.5億円）を行った。2019年3月期からRIZAP 関連事業の成長の第2フェーズと位置付け、1) パーソナルトレーニングの事業拡大(1:1)、2) 健康サポート企業としての実績拡大、3) 新規事業の拡大(スポーツ、フード分野)を図る。2018年3月期に行った先行投資の効果と上記の方針により、2019年3月期は大幅な業績拡大を狙っている。売上収益3,000億円、営業利益350億円とする中期経営計画「COMMIT 2020」への達成に向けて、さらにアクセラを踏んだ格好である。

2019年3月通期の業績予想は、売上収益が前期比83.6%増の2500.00億円、営業利益が同69.2%増の230.00億円、税引前利益が同75.1%増の211.00億円、当期利益が同58.3%増の170.00億円、親会社の所有者に帰属する当期利益は同72.3%増の159.40億円と大幅な増収増益を見込んでいる。

#### ディスクレーマー（免責条項）

株式会社フィスコ（以下「フィスコ」という）は株価情報および指数情報の利用について東京証券取引所・大阪取引所・日本経済新聞社の承諾のもと提供しています。“JASDAQ INDEX”の指数値及び商標は、株式会社東京証券取引所の知的財産であり一切の権利は同社に帰属します。

本レポートはフィスコが信頼できると判断した情報をもとにフィスコが作成・表示したのですが、その内容及び情報の正確性、完全性、適時性や、本レポートに記載された企業の発行する有価証券の価値を保証または承認するものではありません。本レポートは目的のいかんを問わず、投資者の判断と責任において使用されるようお願い致します。本レポートを使用した結果について、フィスコはいかなる責任を負うものではありません。また、本レポートは、あくまで情報提供を目的としたものであり、投資その他の行動を勧誘するものではありません。

本レポートは、対象となる企業の依頼に基づき、企業との電話取材等を通じて当該企業より情報提供を受けていますが、本レポートに含まれる仮説や結論その他全ての内容はフィスコの分析によるものです。本レポートに記載された内容は、資料作成時点におけるものであり、予告なく変更する場合があります。

本文およびデータ等の著作権を含む知的所有権はフィスコに帰属し、事前にフィスコへの書面による承諾を得ることなく本資料およびその複製物に修正・加工することは強く禁じられています。また、本資料およびその複製物を送信、複製および配布・譲渡することは強く禁じられています。

投資対象および銘柄の選択、売買価格などの投資にかかる最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

以上の点をご了承の上、ご利用ください。

株式会社フィスコ